

保護者と学童保育指導員の関係 ～子どもを真ん中に～

講師：玉木博章さん（仮）（ ）

報告者：澤村美海さん（緑区保護者）

世話人：田中勝美さん（緑区保護者）

1. はじめに

子どもたちにとって学童保育は安心できる第二の家であり、学童保育指導員は信頼できる身近なおとなです。一方、保護者にとって学童保育は安心して我が子を託せる場所であり、学童保育指導員は一緒に我が子の成長を見守ってくれるパートナーです。

心身ともに大きく成長する学童期の子どもたちの姿を、保護者と学童保育指導員が共有できることは保護者にとってとても心強いことであり、それには保護者と学童保育指導員との信頼関係が必要不可欠です。

2. ねらい

小学校に通う6年間は心も身体も大きく成長する時期です。私たちはこの6年間にたくさん悩み、子どもとともに保護者も成長していきます。その悩みには、子ども同士の悩み・親と子の悩み・指導員と親の悩みもあるかもしれません。

家族以外でこの6年間で共有でき保護者と指導員の関係は、心強く特別な関係でもあります。

本分科会では、学童保育指導員と保護者が互いに信頼し、子どもの日々の様子やその成長を共感・共有できる良好な関係性を築くための取り組みや実践について考える機会にしたいと思います。

3. 分科会の流れ

- (1) 実践報告：名古屋市緑区のあおぞら学童保育クラブにおける取組の報告
- (2) 講師の講演：「 」
- (3) 交流：保護者と学童保育指導員との関係づくりについての意見交換
- (4) まとめ